



玉串をささげ安全を祈願した延岡川びらき

川での安全を祈願する「川びらき」が20日、延岡市大賀町の大瀬川河川

# 水害・水難事故 起きないように

## 延岡「川びらき」関係機関が祈願

平成30年度の第23回延岡「川びらき」が20日、延岡市大賀町の大瀬川河川に開かれた。関係機関や民間団体などから約30人が参加し、玉串をささげ、水害や水難事故が起きないように祈願した。

川びらき実行委員長の吉田敏彦氏は「延岡市には、五ヶ瀬川や榎子川、北川など多くの川が流れており、歴史的に見ても清流とともに歩んで来ています。これからも市民の川に対する愛を育む取り組みやまちづくりに尽力し、この一年間の安全を願いたい」とあいさつした。

延岡市水難事故防止対策協議会会長の読谷山洋司市長は「延岡市民は、

水神様と幼少のころから

近し右であじましたこの時から水のありがたさと怖さについては理解できているところです。ですが、毎年水難事故は発生していますので、市としても関係団体と市町村の垣根を超えた連携で

水難の対策などを行って「水難事故が起きない」と話した。同行事は平成8年に市が国土庁(現国土交通省)の「水の郷百選」に選ばれたのを機に始まり、毎年、6月1日のアユ漁解禁を前に開いている。

## 23日に内藤家墓前祭

### 5/24 台雲寺で・藤蔭会

延岡高等女学校同窓会「藤蔭会」(寺原八千代会長)は、23日午前10時から延岡市北小路の台雲寺で「内藤家墓前祭」を行う。

同寺の霊園内にある内藤家墓所に集い、同校を経営した内藤政孝公の命のぶ。23日は政孝公の命

日。同校は明治9(1876)年創設の女兒教養に

## 23日に頌徳供養会

### 5/23 福寺で・内藤家顕彰会

内藤家顕彰会(大崎清会長)は、23日午前10時30分から延岡市北町の三福寺で「内藤家頌徳供養

会」を行う。

法要、郷土史講話があり、市学芸員の増田豪さんが「明治維新150年と内藤家」の演題で話す。参加は自由で、出席希望者は電話かファクスで申し込む。1人500円の香料が必要。会終了後は直会がある。

詳細は廣末誠さん(☎080・5260・6754、ファクス0982・33・1345)。

アユのために

# 五ヶ瀬川漁協有志

# 川石磨き

## 5/21 漁解禁目前 昨年到现在き2度目 川水流橋付近

6月1日のアユ漁解禁を前に、延岡市の五ヶ瀬川漁業協同組合（甲斐茂男組合長）の役員で構成する「五ヶ瀬川活動組織」は19日、アユのすみやすい環境づくりに五ヶ瀬川の川石を磨いた。アユの餌になるコケが付きやすくなるため、参加者は「今年は豊漁が期待できる」と話していた。



同市北方町の川水流橋付近で作業。市水産課によると、石磨きは古くなったコケなどを落とし、新しいコケをつくる五ヶ瀬川の石磨きを行う組合員

ための作業。北川では「マイストーン作戦」と題して定期的に行われてるが、同川では昨年からは始めた。水産再生や環境保全などを目的に国、県、市が協力して展開する「水産多面機能発揮対策事業」の一環で昨年、同組織が設置され、取り組むようになったという。2回目の今回は11人が

参加。胴長を履いてデッキブラシを手に川の中に入り、一つ一つ丁寧に汚れを落としていった。

甲斐組合長は「アユがしっかりと遡上をしようしてくるようになると願いながら作業した。きつとアユもそれに応えてくれるはず」と笑顔。

同漁協は4月上旬、798キのアユの稚魚を同川数カ所に放流。同月中旬

からはアユの生育環境を整える重機を使った川床耕運も行ってきた。また、同課によると今年も平成3年以降の記録で最も早い遡上も確認しており、「アユが大きく育つかもれない」という。

甲斐組合長は「そういう状況を踏まえ、今年ばかりの数の遡上が見られたい。量、サイズともに期待できると思う」と話した。

アユは基本的に「友釣り」だが、岩熊井堰（いげき）より下流では「コロガシ釣り」も許されている。例年釣り人の多い日之影町役場の近くは今年、釣果は期待できないかもしれないという。今回石磨きを行った川水流橋などが有力ポイントになりそうだ。